

ハラスメントのない数理、数学科を

数理科学研究科と理学部数学科にとって、すべての人が、学生、研究員、教員、職員という立場の違い、学年や年齢、職位や業務の違い、健康状態や障がいの有無、性別と性自認、性的指向の違い、国籍や出身、家庭環境や経済状況の違い、学業成績や研究業績あるいは専門分野などの属性にかかわらず、個人として尊重されることは基本的価値です。この価値は、私たちの目標とする自由な教育、学習、研究活動とそのため不可欠である良好な職場環境の前提となるものです。そしてこの価値の実現は、ここに集う人の多様性につながります。

ハラスメントはこの基本的価値を損なうものであり、重大な人権侵害にもつながります。非対称な人間関係のもとで、ハラスメントはいつでも誰にでも生じる危険性があります。ハラスメントは被害者に生じた問題ではなく、それを許容する環境の問題です。

数理科学研究科と理学部数学科は、すべての構成員と関係者にその立場を問わず、ハラスメントの加害者、傍観者にならないための意識と不断の努力を求めます。誰もがのびのびと教育、研究、学習と職務に打ち込める環境を実現するために、あらゆる機会をとらえて、ハラスメントを未然に防止するために実効性のある対策を講じます。

参考： 東京大学セクシュアルハラスメント防止宣言(改正H29.3.30)

http://har.u-tokyo.ac.jp/files/user/img/SH_sengen.pdf

東京大学アカデミックハラスメント防止宣言

http://har.u-tokyo.ac.jp/files/user/img/AH_sengen.pdf

東京大学セクシュアルハラスメント防止のためのガイドライン

http://har.u-tokyo.ac.jp/files/user/img/SH_guideline.pdf